

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	市街地の再開発促進事業				款	5	項	1	目	2	事業	3	整理番号	355			
担当部課名	都市整備部まちづくり推進課				係名	拠点整備係				連絡先電話番号	3372		昨年度整理番号	444 枝番号			
上位施策No・施策名	4 都市機能の充実												予算事業区分				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	44	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	7	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				市街地再開発事業などの民間再開発を行おうとする者		根拠法令等 (1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区市街地再開発事業補助金交付要綱									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	民間再開発事業を支援する。				活動指標名(式) (1) 民間再開発に関する助成金額 (2) 民間再開発に関する相談・指導回数											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	民間再開発事業の相談や指導を行う。助成制度を活用し、民間再開発事業の活動支援を行う。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 再開発準備組織数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 民間再開発事業完了地区数 算定式・指標の説明等											
区分		単位	18年度		19年度				20年度				21年度	目標値	目標値に対する	計画に対する	
			実績		計画		実績		計画		実績		計画	22年度	20年度の	20年度の	
指標	活動指標(1)		千円	0	104,010	104,000	4,600	0	176,600	500,200	0.0	0.0					
	活動指標(2)		回	156	150	145	150	144	150	150	96.0	96.0					
	成果指標(1)		団体	0	1	0	1	1	1	4	25.0	100.0					
	成果指標(2)		地区	0	0	0	0	0	0	4	0.0						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,171	104,531	104,301	5,121	238	176,731	20年度予算執行率% 4.6							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費		千円	945	104,010	104,000	5	0	4,215	21年度への繰越事業費 阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物 等整備助成 4,600千円							
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.50 0.00	0.60 0.00	0.61 0.00	0.60 0.00	0.61 0.00	2.70 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	13,590	5,484	5,575	5,430	5,521	24,435							
		(内)非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	14,761	110,015	109,876	10,551	5,759	201,166								
	単位あたりコスト (-) ÷		円		1,058	1,057	2,294		1,139								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等		千円	0	52,005	52,000	2,300	0	88,300							
都からの補助金等		千円	/	/	/												
その他の補助金等		千円	/	/	/												
特定財源計 + + +		千円	0	52,005	52,000	2,300	0	88,300									
差引:一般財源 -		千円	14,761	58,010	57,876	8,251	5,759	112,866									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 355

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	他団体負担金	2	団体	110
	阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物等整備助成	1	件	0
	その他(会議等負担金、事務用品等の購入)			128
(2)事業実績	阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物等整備助成については、権利調整が遅延していたため、21年度に事業費を繰り越しました。 また、再開発準備組織に対し、再開発の必要性や課題を整理するために街づくりコンサルタントを派遣し、再開発準備組織の活動の支援を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人財産に影響を及ぼす事業のため、権利の調整が難しい事業であります。経済の低迷時には事業採算も難しく、事業化に至らないものも多くあります。都市再生は国の重要な事業であるため、様々な制度が創設されています。これらの複雑化した制度の活用や誘導など、適切な対応が求められています。		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	事業施工者からは、事業推進に向けての助成の拡充を望まれています。その一方で、近隣住民からは、再開発により、住環境が著しく変化することが予想されるため、周辺住宅地等に及ぼす影響が大きいとの意見があります。		
	今後の予測	地価の変動をはじめ、経済動向などの社会情勢の影響を大きく受けながら推進していくと予想されます。		
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容			
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	再開発事業の実現に向けて活動していくことは、将来の都市機能の更新や充実に結びつくものであり、施策への貢献が大きいと言えます。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	民間再開発事業は、地元地権者が主体となって推進する事業であるため、事業費の増減が直接成果に結びつくとは言えません。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	住民団体を組織化することで、受益者負担にはなじみません。また、事業化の際は、国要綱等により、補助の対象、内容、割合が定められており、事業実施者が一定の負担をします。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	経常的に計上している経費は事務経費が主であります。また、将来事業化が計られた際の補助金についても、国要綱等に基づいて算出するため見直しの余地はありません。		
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ		
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 推進		
評価と課題	民間再開発事業については、将来の都市機能の更新や充実に結びつくものであるため、区は、地権者や事業者にもまち全体を計画する立場からの指導・助言と許認可の権利を有すると同時に、まちづくりの計画者としての責任があります。 再開発事業は、周辺住宅地の環境等に及ぼす影響が大きいと、事業者や周辺住民等の意向を確認しながら、調和のとれた計画づくりを誘導していかなければなりません。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	再開発準備組織に対し、再開発の初期期における助言や指導を行いました。また、再開発の必要性や課題を整理するため、街づくりコンサルタントを派遣し、再開発準備組織の活動の支援を行いました。21年度は、地元とともに当該地区周辺のまちづくり構想の検討を進めていきます。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 再開発を目指した地権者による準備組織が、地域の特性に応じたまちづくりの具体化に向けてさらに推進できるよう、適切な助言・指導を行い、合わせて関係機関との調整を図るとともに、国や都と連携を図り再開発等を助成していきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	再開発準備組織が、再開発の構想づくりや計画づくりを進めていく際に、専門家による調査・研究・助言などが必要となりますが、その費用の調達方法が困難であり、活動を進めて行く上で大きな障害となっています。今後、様々な補助制度を活用し、再開発準備組織の活動の支援を行っていく必要があります。							
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物等整備事業については、21年度より工事費の助成が始まるため、経費が拡大します。また、再開発準備組織に対しては、街づくりコンサルタントを派遣し、活動の支援を進めていきます。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		永福町駅周辺整備			款	5	項	3	目	1	事業	13	整理番号	400			
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課			係名	拠点整備担当係			連絡先電話番号	3373			昨年度整理番号	450	枝番号	1	
上位施策No・施策名		4 都市機能の充実			予算事業区分								投資事業				
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	18年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	6	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 当該駅を横断する踏切等の利用者及び当該駅利用者					根拠法令等		(1) 地方自治法第281条第2項 (2) 杉並区まちづくり基本方針									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 南北自由通路を整備、踏切による交通混雑の緩和 バリアフリー施設の設置による、当該駅周辺の安全性と利便性の向上					活動指標名(式)		(1) 南北自由通路設置補助金額 (2) 南北自由通路調査・設計委託補助金額									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 駅周辺整備 駅舎橋上化、駅前広場の整備、南北自由通路の設置、バリアフリー施設の整備(国庫補助事業活用)					成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)南北自由通路設置進捗率 算定式・指標の説明等 実績累計 ÷ 目標値 × 100 成果指標名(2) (代)調査・設計進捗率 算定式・指標の説明等 実績累計 ÷ 目標値 × 100									
区分		単位	18年度		19年度				20年度				21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%	
			実績		計画		実績		計画		実績		計画	22年度			
指標	活動指標(1)		千円	0	150,000	0	156,130	156,000	504,000							99.9	
	活動指標(2)		千円	3,150	36,400	36,400											
	成果指標(1)		%	0.0	21.5	0.0	22.4	22.0	100.0								98.2
	成果指標(2)		%	8.0	100.0	100.0	-	-									#VALUE!
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,150	186,530	36,400	156,130	156,112	504,100	20年度予算執行率%		100.0					
	(内)投資的経費等		千円	3,150	186,400	36,400	156,100	156,089	504,000	特記事項 債務負担 ・設定額(総額) 510,000千円 ・設定期間 平成19年度～平成21年度 本事業は、平成21年度で施設整備事業は完了予定のため、平成22年度の目標値は空欄としています。 調査・設計についても、平成19年度をもって完了したため、平成20年度以降の数値等は空欄としています。							
	(内)委託費		千円	3,150	0	0	30	23	0								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40 0.00	1.20 0.00	1.23 0.00	2.00 0.00	2.26 0.00	2.80 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	3,624	10,968	11,242	18,100	20,453	25,340							
		(内)非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	6,774	197,498	47,642	174,230	176,565	529,440								
	単位あたりコスト (-) ÷		円		74		116	131	50								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等		千円	1,000	93,200	18,200	78,000	78,000	252,000							
都からの補助金等		千円															
その他の補助金等		千円															
特定財源計 +++		千円	1,000	93,200	18,200	78,000	78,000	252,000									
差引:一般財源 -		千円	5,774	104,298	29,442	96,230	98,565	277,440									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 400

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		1	件	156,112
(1)主な取組み	永福町駅 南北自由通路新設整備工事(補助)			
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目				
	その他()			0
(2)事業実績	平成21年2月準備工事後、整備工事に着手し、予定の工事は完了しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	1日の乗降客数は約30,000人(平成19年)で、近年微増しているが、大きな変化はありません。駅の南北アクセス機能がかけており、駅に隣接し大変混雑する踏切の解消が長年の課題となっていました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域住民から、南北アクセスについて期待されており、事業の早期実現が望まれています。また、駅西側住民から、新たな出入口の供用を求められています。(駅西北側の出入口)
	今後の予測	整備計画に対する地域要望や工事に関する要望等に対応し整備を進めますが、要望内容等により竣工が延びる可能性もあります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	踏み切りの混雑が解消され、バリアフリー施設の設置で駅周辺の安全性・利便性が高められます。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	鉄道事業者と綿密な協議をし、事業が計画通り進むよう調整します。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまないと考えています。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	施工にあたっては、資源の再利用や省エネルギーに努め、工事期間の短縮、工事費の縮減を図っています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	<p>評価:平成21年度の竣工を目指し、概ね予定どおりの工程で進めています。</p> <p>課題:今後も、事業者と綿密な調整を行い、計画どおりに工事を進める必要があります。地域の要望を解決しながら、事故等に留意して工事を進める必要があります。</p>
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	工事の着手が若干遅延しましたが、平成20年度に予定した工事は完了しました。平成21年度は、工事の最終年度となるため、予算は増となっています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 工事が円滑に計画どおりに進むよう、国・都・鉄道事業者及び地域住民等と綿密な調整を行います。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	新たな出入口の設置や工事期間の短縮など、住民要望があります。関係機関等との調整が必要です。							
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	● 予算なし		
	(2)理由	本事業は、平成21年度で完了予定です。地域に親しまれる施設とするため、シンボリックなモニュメント等の設置も検討します。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高円寺駅周辺整備			款	5	項	3	目	1	事業	14	整理番号	401		
担当部課名		都市整備部建設課			係名	街路整備係			連絡先電話番号	3435			昨年度整理番号	468 枝番号		
上位施策No・施策名		4 都市機能の充実			予算事業区分								投資事業			
事業開始		平成	▼	17年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	6	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
事務事業の概要	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等		(1) 道路法16条1項 (2) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律									
	高円寺駅及び周辺道路利用者(車両運転者、沿道住民等すべてを含む)です。															
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 駅前広場としての機能の充実や、地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため、駅前広場や周辺道路の整備を行い、まちの活力を向上させます。				活動指標名(式)		(1) 高円寺(北口・南口)駅前広場整備完成面積(累計) (2) 高円寺駅周辺整備完成面積(累計)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため駅前広場や周辺道路の整備を行う。 駅前広場の整備は、平成20～22年度で行い、竣工後随時供用開始する。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 高円寺(北口・南口)駅前広場整備完成率 算定式・指標の説明等 完成面積 ÷ 計画面積 × 100 成果指標名(2) 高円寺駅周辺整備完成率 算定式・指標の説明等 完成面積 ÷ 計画面積 × 100									
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		22年度					
指標	活動指標(1)		m ²	0	0	0	1,680	1,680	4,380	6,230	27.0	100.0				
	活動指標(2)		m ²	0	0	0	1,680	1,680	5,450	9,370	17.9	100.0				
	成果指標(1)		%	0.0	0.0	0.0	27.0	27.0	70.3	100.0	27.0	100.0				
	成果指標(2)		%	0.0	0.0	0.0	17.9	17.9	58.2	100.0	17.9	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,989	18,591	14,915	95,607	93,826	283,027	20年度予算執行率% 98.1						
	(内)投資的経費等		千円	9,975	18,400	14,915	95,500	93,778	282,960	特記事項 高円寺駅前広場整備工事(期)は、20年度から21年度にまたがる工事のため、21年度に債務負担を設定しています。 工事請負金額 204,750,000円 21年度債務負担額 117,050,000円 工期 平成21年8月26日まで						
	(内)委託費		千円	9,975	18,400	14,910	95,500	93,778	282,960							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.64 0.00	0.64 0.00	0.64 0.00	0.75 0.00	0.98 0.00	1.33 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	5,798	5,850	5,850	6,788	8,869	12,037							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	15,787	24,441	20,765	102,395	102,695	295,064							
	単位あたりコスト (-) ÷		円				4,104	5,308	2,763							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0									
		国からの補助金等		千円	0	0	0	4,400	4,400				1,650			
都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	4,400	4,400	1,650								
差引:一般財源 -		千円	15,787	24,441	20,765	97,995	98,295	293,414								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 401

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		高円寺駅前広場整備工事(期)	1	件	87,700
		高円寺駅前広場シェルター設計他業務委託	1	件	3,255
		電気供給に伴う工事費負担金	1	件	1,575
		街路灯地下埋設配管工事	1	件	1,247
		その他(事務用品の購入ほか)			49
(2)事業実績	北口駅前広場の整備工事に着手し、北口周辺歩道の整備が完了しました。これにより、駅前歩道部の拡幅や、バリアフリーに対応した、段差の少ない、歩きやすい歩行空間が確保できました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高円寺駅舎のバリアフリー対策の完了及びホテル建設が完了しオープンしました。座・高円寺(杉並芸術会館)が平成21年度の開館に向けて完成しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	駅前広場について、商店や地域の活性化を図るため、高円寺をイメージする演出、水や緑による個性の創造、憩いの場やイベントが行える空間の整備などの要望が寄せられています。
	今後の予測	北口駅前広場整備の完成が近づき、また、座・高円寺も完成したことから、駅前広場の利用について、地元から様々な意見が寄せられています。今後の広場の利用形態については、さらに検討を重ねながら整備を進めていきます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 地域住民・駅利用者の利便性と安全で快適な歩行空間が確保され、まちの活力向上を図ることができます。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	懇談会等を活用し、地域住民等の意見を取り入れる機会を多く設け、事業への理解と満足度の向上を図っています。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	駅周辺の整備事業であり受益者を特定できません。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	計画・設計・積算の各段階で基準に基づき最適な方法を選択しています。	
	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	

協働等点検	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	
-------	---------------------------------	------------------------	--

評価と課題	JR高円寺駅前広場については、これまでの地元の意見・要望を踏まえ、交通管理者等関係機関との調整を図り、整備計画を策定し、平成20年10月から北口駅前広場の整備工事に着手しました。北口駅前広場は平成21年8月に竣工予定で、平成21年10月からは南口駅前広場整備工事に着手する予定です。平成22年度末までには、杉並芸術会館も開館した阿波踊りや大道芸のまち高円寺にふさわしい地元で愛される駅前広場として整備していきます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 工事に関する説明会を実施し、地域住民の理解と協力を求めました。また、円滑な工事の進捗を図るため、関係企業、交通事業者との工程調整会議を開催しました。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年度の南口駅前広場整備工事の着手に伴い、円滑な工事の進捗を図るため、関係企業、交通事業者、交通管理者との調整を図り、また、説明会等により、地域住民の理解を求めていきます。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 少数の反対意見が工事に影響を及ぼすことがあります。意見を良く聞き、工事に反映できるものは反映し、根気よく理解と協力を求めていきます。
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理 由 平成20年度から3カ年は駅前広場整備工事の実施期間となります。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		井荻駅周辺整備			款	5	項	3	目	1	事業	15	整理番号	402					
担当部課名		都市整備部建設課			係名	計画調整係			連絡先電話番号	3422			昨年度整理番号	469 枝番号					
上位施策No・施策名		4 都市機能の充実			予算事業区分								投資事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	19	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	6	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 道路法第16条1項 (2) 高齢者、障害者等の移動の円滑化の促進に関する法律												
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	井荻地下歩道利用者の利便性の向上、より一層のバリアフリー化を図ります。			活動指標名(式)		(1) ヒアリング調査をした人数 (2)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	20年度、改善方針について都と協議			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 井荻地下歩道利用者のうち不便さを感じる割合 算定式・指標の説明等 不便さを感じる人数 / ヒアリング調査をした人数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等												
区分		単位	18年度		19年度				20年度				21年度	目標値	目標値に対する20年度	計画に対する20年度			
			実績		計画		実績		計画		実績		計画	22年度	の達成率%	の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	0	0	288		0	288		0	0							
	活動指標(2)																		
	成果指標(1)		%	0	0	66		0	66		0	0							
	成果指標(2)																		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	2,000	1,943		1,010	0		1,000	20年度予算執行率% 0.0							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0							特記事項 20年度は19年度の調査結果を元に、より一層のバリアフリー化について、都との協議を行った為、事業費については未執行となりました。また、指標については、井荻地下歩道の状況が変わっていない為、同数値を使用しました。今後とも都と協議して改善方針を決めるので、21年度以降の計画や目標値などは設定できません。						
	(内)委託費		千円	0	2,000	1,943		1,000	0		1,000								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.00	0.00	0.20	0.00	0.21	0.00	0.20	0.00	0.21					0.00	0.20	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	1,828	1,919		1,810	1,901		1,810								
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0		0	0		0								
	総事業費 ++		千円	0	3,828	3,862		2,820	1,901		2,810								
	単位あたりコスト (-)÷		円			13,410			6,601										
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0												
		国からの補助金等		千円	0	0	0												
都からの補助金等		千円																	
その他の補助金等		千円																	
特定財源計 + + +		千円	0	0	0		0	0		0									
差引:一般財源 -		千円	0	3,828	3,862		2,820	1,901		2,810									
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 402

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
20年度の事業実施状況	(1)主な取組み	19年度井荻地下歩道調査結果を元に一層のバリアフリー化について東京都と協議			0
	(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目				
	その他()				0
	(2)事業実績	井荻地下歩道調査研究委託費は執行しませんでした。都とより一層のバリアフリー化について協議を重ねました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初からの変化はありません。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	井荻地下歩道は北側・南側ともに、通常上り運転のみのエスカレーターが設置されているため、高齢者や車椅子の方から利用しづらいとの意見があります。そのため、下りエスカレーターやエレベーター設置の要望があります。			
	今後の予測	高齢化が進展して行く中で、地下歩道の利便性向上は必要と考えます。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 井荻地下歩道の利用を安全で快適なものにでき、より一層のバリアフリー化が図れます。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	都が主体となりバリアフリー化の検討を進める事となれば、より現実的になります。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	井荻地下歩道は都道であり、受益者負担の考えはありません。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	バリアフリー化を図るには、ある程度の初期投資が必要であります。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	井荻地下歩道は、地上部と環8地下トンネルとの間の限られた空間につくられた施設です。当初、エスカレーター設置の地元要望を受け、工夫して施設を整備し開設しましたが、開設当初から改善要望をいただいていた。バリアフリー対策を充実するには、エレベーター設置が必要と考えます。今後、東京都と十分協議を行い、地元要望にこたえられる施設づくりに取り組んでまいります。				
改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 都と改善方針について協議を行いました。				
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年度は、バリアフリー化実現のため、更に都と改善方針について協議を行う予定です。				
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 都では、設置後10年程度のエスカレーターを改修することは難しいとのこと。また、現状の地下空間の中で、下りエスカレーターの増設や既存エスカレーターを残したままのエレベーター設置は、物理的に難しい状況です。					
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2)理由	21年度の都との協議内容によっては、バリアフリー化に必要な事業費の負担が発生します。			

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	荻窪駅周辺整備	款	5	項	3	目	1	事業	16	整理番号	403	
担当部課名	都市整備部まちづくり推進課	係名	拠点整備係			連絡先電話番号	3372			昨年度整理番号	451	枝番号
上位施策No・施策名	4 都市機能の充実							予算事業区分	投資事業			

事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	6	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区まちづくり基本方針										
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	駅周辺が、周辺住民及び駅利用者にとって安心して利用できる地区となるよう、整備計画を策定するとともに具体化を図る。										活動指標名(式) (1) 地元住民への周知及び関係事業者等との打合せ回数 (2) 研究会・検討会等の開催回数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	20年度は、地元住民への周知・啓発活動及び関係事業者等との打合わせを行う。 20年度は、まちづくりについての調査研究、立案及び他機関との調整を行う。										成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 整備構想(整備計画)の策定数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 整備構想等に基づき具体化された事業箇所 算定式・指標の説明等					

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画					
指標	活動指標(1)	回	30	36	33	36	32	36	36	88.9	88.9	
	活動指標(2)	回	10	20	15	20	16	20	20	80.0	80.0	
	成果指標(1)	件	1	1	1	1	1	1	4	25.0	100.0	
	成果指標(2)	箇所	0	1	0	1	0	0	2	0.0	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	8,005	11,428	2,676	10,628	10,241	3,272	20年度予算執行率% 96.4			
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	10,628	10,241	3,272	特記事項			
	(内)委託費	千円	7,822	10,800	2,625	10,267	10,068	2,911				
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.10 0.00	2.40 0.00	2.46 0.00	2.40 0.00	2.44 0.00	1.80 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	28,086	21,936	22,484	21,720	22,082	16,290			
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	36,091	33,364	25,160	32,348	32,323	19,562				
	単位あたりコスト (-)÷	円	1,203,033	926,778	762,424	603,333	690,063	452,500				
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	千円	/	/	/	/	/	/			
		その他の補助金等	千円	/	/	/	/	/	/			
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	36,091	33,364	25,160	32,348	32,323	19,562				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 403

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		1	件	9,996
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	荻窪駅東口南北自由通路拡幅等整備方針及び基本計画作成委託			
	その他(通信運搬費、事務用品等の購入)			245
(2)事業実績	区、JR東日本及び東京メトロの三者で構成する協議会を開催し、荻窪駅東口通路の拡幅や西口バリアフリー整備などについて、基本計画案及び整備方針の検討を行いました。 北口駅前広場については、広場内係争地の裁判の結審に備えて、都の整備内容や区への移管手続きに関することについて都や関係機関と協議を行い、工事の準備を進めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	JRの線路が高架ではない(地平駅)のため、駅南北方向における通行機能の不十分さや、商店街の分断化による回遊性の欠如及び狭小な駅前広場整備問題など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題が多く、地元からの改善要望も強いものがあります。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	北口駅前広場整備の早期実現を望まれています。 南北自由通路の拡充や駅周辺の回遊性の向上を望まれています。
	今後の予測	誰もが安全で安心して行動できる、人にやさしいまちづくりの機運がさらに高まり、鉄道事業者による駅舎改良なども連動し、駅周辺機能の充実が図られ、南北の回遊性、バリアフリー化が推進していくと予想されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	駅周辺という誰もが利用する区域の快適性、安全性、利便性を向上するための計画策定事業であり、施策への貢献が大きいと言えます。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	鉄道事業者や関係機関と綿密な協議をし、事業が計画通り進むよう調整します。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	駅周辺の整備事業であるため、受益者を特定できません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	経常的に計上している予算は、主に資料作成等に要するコピー、印刷物等の事務費であり、コスト減の余地はありません。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題
計画等の策定にあたっては、都や鉄道事業者などの関係機関と十分な協議や調整を行い、地元働きかけ、住民意向を十分に反映させたまちづくりを進めていかなければなりません。荻窪駅周辺は、区内最大の交通ターミナルであり、商業サービスが集積した生活拠点にもかかわらず、他のJR3駅と比べて南北方向の通行機能の不十分さや商店街の分断化による回遊性の欠如など、地域の課題が多いため、鉄道事業者や関係機関と協力し、バリアフリー化や駅周辺の整備を進めていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	都や鉄道事業者などの関係機関との綿密な協議・調整を行うとともに、地元関係者との意見交換を積極的に行い、西口バリアフリー整備等に関する計画策定を進めました。21年度は、北口駅前広場の修景計画の策定を検討します。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業推進のため、国・都および関係機関等との十分な協議・調整を行うとともに、さまざまな場面・段階での住民参加を図っていきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	地元関係者等からさまざまな意見・要望がだされ、事業の進捗に支障が生じることも考えられますが、地元関係者等への十分な情報提供や説明会開催などを積極的に行っていきます。								
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	● 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	荻窪駅西口バリアフリー整備や北口駅前広場修景整備に向け、予算増を想定しています。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		西永福駅周辺整備			款	5	項	3	目	1	事業	81	整理番号	404							
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課			係名	拠点整備担当係			連絡先電話番号	3373			昨年度整理番号	450	枝番号	2					
上位施策No・施策名		4 都市機能の充実			予算事業区分								投資事業								
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	17	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		当該駅を横断する踏切等の利用者及び当該駅利用者		根拠法令等		(1) 地方自治法第281条第2項 (2) 杉並区まちづくり基本方針												
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		南北自由通路の設置 (踏切による交通混雑の緩和) 障害フリー施設の設置による、当該駅周辺の安全性と利便性の向上		活動指標名(式)		(1) 自由通路整備補助+駅前広場整備金額 (2) 駅舎橋上化補助金額														
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		駅周辺整備 駅舎橋上化、駅前広場の整備、南北自由通路の設置、障害フリー施設の整備(国庫補助事業の活用)		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) (代)自由通路及び駅前広場進捗率 算定式・指標の説明等 累計金額 ÷ 目標値 × 100 成果指標名(2) (代)駅舎橋上化進捗率 算定式・指標の説明等 累計金額 ÷ 目標値 × 100														
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%								
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度										
指標	活動指標(1)		千円	0	414,000	348,932	64,051	64,048						100.0							
	活動指標(2)		千円	0	98,600	98,600	18,000	18,000						100.0							
	成果指標(1)		%	4.2	100.0	84.9	100.0	100.0						100.0							
	成果指標(2)		%	3.3	100.0	100.0	100.0	100.0						100.0							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1	512,700	447,555	64,052	64,048			20年度予算執行率%		100.0								
	(内)投資的経費等		千円	0	512,600	447,532	0	0			特記事項 平成20年度計画・実績は、平成19年度繰越予算にて執行しました。 本事業は、平成20年度で施設整備事業は完了したため、平成21年度以降の数値は空欄としています。										
	(内)委託費		千円	0	0	0	64,052	64,048													
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10 0.00	1.50 0.00	1.59 0.00	1.00 0.00	1.23 0.00	0.20 0.00												
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	906	13,710	14,533	9,050	11,132	1,810												
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0												
	総事業費 + +		千円	907	526,410	462,088	73,102	75,180	1,810												
	単位あたりコスト (-) ÷		円		33	42	1,141	1,174													
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0											
		国からの補助金等		千円	0	191,600	173,600	18,000	18,000	0											
都からの補助金等		千円																			
その他の補助金等		千円																			
特定財源計 + + +		千円	0	191,600	173,600	18,000	18,000	0													
差引:一般財源 -		千円	907	334,810	288,488	55,102	57,180	1,810													
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0													

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 404

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		西永福駅前広場公衆便所改築工事	1	件
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目				
	その他 ()			0
(2)事業実績	平成20年7月31日、駅前広場及び公衆便所の整備工事が完了し、供用を開始しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	1日の状況客数は約19,000人(平成18年)で、近年大きな変化はありません。駅の南北アクセス機能がかけており、駅に隣接し大変混雑する踏み切りの解消が長年の課題となっていました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	地域住民から、南北アクセスについて期待されており、事業の早期実現が望まれていました。
	今後の予測	駅北側の整備(駅前広場)や、公共交通ネットワークの充実など、交通結節機能の強化が求められます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	踏切の混雑が解消され、バリアフリー施設の設置で駅周辺の安全性・利便性が高められました。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	整備した施設の更なる利便性の向上ためには、バス・タクシー等の交通結節機能の充実が不可欠で、駅北側の駅前広場の整備や、幹線道路から駅前広場までの接続道路の整備が必要となります。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	不特定多数の利用者があり、受益者負担はなじまないと考えます。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	施工にあったっては、資源の再利用や省エネルギーに努め、工事期間の短縮、工事費の縮減を図りました。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	<p>評価: 全体の整備計画では、平成19年度に竣工する予定でしたが、工事を進めるうえで、支障物の除去に相当の期間を要したため、駅前広場・公衆便所の整備が遅延し、供用開始が遅れました。</p> <p>課題: 駅北側の駅前広場の整備や交通結節機能の充実など、公共交通ネットワークの再考が必要となります。</p>
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	○ 現状維持	● 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	国や都、鉄道事業者と調整を密にし、事業が計画どおりに進行するよう調整を行いました。その結果、駅舎の改良計画は概ね計画どおりに竣工しました。駅前広場・公衆便所整備の整備工事については、計画変更を行いました。本事業については、当初の全体計画は完了しました。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	今後の課題としては、交通結節機能の充実のため、駅を中心とした広域の整備計画方針を検討する必要があります。							
(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	北側駅前広場や幹線道路からの接続道路を整備するためには、用地の確保が必要となり、地権者の方々との協働が必要となります。								
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	● 予算なし		
	(2) 理由	現状での駅周辺整備計画は、平成20年7月に完了しました。ただし、交通結節機能の充実など、継続して駅周辺の整備について、調査・検討します。							